

【問題用紙】

問題 1 障害により下垂手をきたすのはどれか。はき 9-59

1. 橈骨神経
2. 正中神経
3. 尺骨神経
4. 腋窩神経

問題 2 誤っている組合せはどれか。はき 9-61

1. 脊柱側弯 ————— 坐骨神経痛
2. 亀背 ————— くる病
3. 前傾位 ————— パーキンソン病
4. 腰椎後弯 ————— 進行性筋ジストロフィー症

問題 3 神経伸展テストはどれか。はき 9-62

1. マクマレーテスト
2. ラセーグテスト
3. ライトテスト
4. スパーリングテスト

問題 4 誤っている組合せはどれか。はき 9-64

1. テニス肘 ————— 上腕骨外側上顆炎
2. 野球肘 ————— 離断性骨軟骨炎
3. ジャンパー膝 ————— 膝蓋靭帯炎
4. 平泳ぎ膝 ————— 外側側副靭帯炎

問題 5 胸郭出口症候群の診断テストでないのはどれか。はき 9-66

1. ライトテスト
2. アドソンテスト
3. モーレイテスト
4. ファレンテスト

問題 6 筋緊張性ジストロフィーの症状で誤っているのはどれか。はき 9-72

1. 筋トーンの亢進
2. ミオトニア
3. 性腺萎縮
4. 白内障

問題 7 先天性股関節脱臼について誤っている記述はどれか。はき 9-79

1. 女兒に多い。
2. オルトラニー徴候を認める。
3. 大腿内側皮膚溝は非対称となる。
4. 幼児期には腰椎後弯を認める。

問題 8 手根管症候群の診断に用いられるのはどれか。あ 10-68

1. アドソンテスト
2. アレンテスト
3. ファレンテスト
4. ライトテスト

問題 9 骨折の症状でないのはどれか。あ 10-73

1. 局所の疼痛
2. 異常可動性
3. あつれき音
4. ばね様固定

問題 10 外傷性脱臼で起こらないのはどれか。あ 10-76

1. 疼痛
2. 腫脹
3. 変形
4. 脂肪塞栓

問題 11 腰椎椎間板ヘルニアで正しい記述はどれか。あ 10-91

1. 高齢者に好発する。
2. 好発部位はL4-L5間である。
3. バビンスキー反射が出現する。
4. 背筋の緊張が低下する。

問題 12 いわゆる五十肩で誤っているのはどれか。あ 10-92

1. 退行変性である。
2. 外転、外旋制限が強い。
3. 包帯で固定する。
4. 予後は良い。

問題 13 股関節の運動方向でないのはどれか。はき 10-63

1. 屈 曲
2. 伸 展
3. 回 内
4. 外 旋

問題 14 腰部脊柱管狭窄症にみられるのはどれか。はき 10-64

1. 間欠跛行
2. 麻痺性跛行
3. 失調性跛行
4. 墜落跛行

問題 15 二次性変形性関節症の原因とならないのはどれか。はき 10-81

1. ペルテス病
2. 先天性股関節脱臼
3. 重症筋無力症
4. 血友病

問題 16 手根管症候群について誤っているのはどれか。はき 10-82

1. 正中神経低位麻痺
2. 母指球筋の萎縮
3. 母指の対立運動障害
4. 骨間筋の萎縮

問題 17 関節障害でトレンデレンブルグ徴候を起こすのはどれか。あ 11-72

1. 肩関節
2. 股関節
3. 膝関節
4. 足関節

問題 18 神経麻痺で母指対立筋の萎縮がみられるのはどれか。あ 11-91

1. 筋皮神経
2. 尺骨神経
3. 橈骨神経
4. 正中神経

問題 19 手関節の運動方向に含まれないのはどれか。はき 11-62

1. 屈 曲
2. 伸 展
3. 回 内
4. 橈 屈

問題 20 検査と疾患との組合せで正しいのはどれか。はき 11-63

1. トーマステスト ————— 膝外側側副靭帯損傷
2. 下肢伸展拳上テスト ————— 頸部脊椎症
3. パトリックテスト ————— 腰椎分離すべり症
4. 前十字靭帯損傷 ————— 前方引き出しテスト

問題 21 筋萎縮が近位に偏るのはどれか。はき 11-66

1. デュシェンヌ型筋ジストロフィー症
2. 筋緊張性筋ジストロフィー症
3. 多発神経炎
4. 筋萎縮性側索硬化症

問題 22 疾患と症候との組合せで誤っているのはどれか。はき 11-72

1. 脊柱側弯症 ————— 肋骨隆起
2. 腰椎椎間板ヘルニア ————— ラセーグ徴候
3. 強直性脊椎炎 ————— 亀 背
4. 頚椎脱臼骨折 ————— 四肢麻痺

問題 23 外傷性脱臼について正しい記述はどれか。はき 11-78

1. 整復後直ちに運動を開始する。
2. 頻度の高いのは肩関節である。
3. 腫脹が治まってから整復する。
4. 肘関節脱臼では血管損傷を合併することが多い。

問題 24 誤っている組合せはどれか。あ 12-75

1. スワンネック変形 ————— 関節リウマチ
2. ヘバーデン結節 ————— 変形性関節症
3. デュプイトレン拘縮 ————— 痛 風
4. クモ状指 ————— マルファン症候群

問題 25 高齢者の転倒予防で誤っている記述はどれか。あ 12-88

1. ベッドは膝の高さとする。
2. 起床時はしばらく座ってから立ち上がる。
3. 廊下を歩くときは手すりを利用する。
4. 履物はサンダルタイプとする。

問題 26 いわゆる五十肩で誤っている記述はどれか。あ 12-89

1. 帯を結ぶ動作が困難となる。
2. 肩甲帯筋の廃用性萎縮がみられる。
3. 肩関節腔は拡大している。
4. 痛みは寒冷時に増悪する。

問題 27 変形性膝関節症に関連が少ないのはどれか。あ 12-90

1. 運動開始時痛
2. 大腿四頭筋萎縮
3. 外反膝
4. 関節拘縮

問題 28 変形性脊椎症で最も適切なのはどれか。あ 12-91

1. エックス線所見と臨床症状とは一致する。
2. 閉経後の女性に多い。
3. 長期間コルセットを装着させる。
4. 体操で筋力強化を図る。

問題 29 原発性骨粗鬆症で誤っている記述はどれか。はき 12-65

1. 閉経後の女性に多い。
2. 椎体の圧迫骨折が多い。
3. 血中カルシウム値は低下する。
4. 骨の化学的成分は正常である。

問題 30 高齢者の転倒しやすい理由でないのはどれか。はき 12-70

1. 立ち直り反応の亢進
2. 感覚機能の低下
3. 関節可動範囲の制限
4. 重心動揺の増大

問題 31 高齢者におこりやすい骨折で誤っているのはどれか。はき 12-71

1. 上腕骨顆上骨折
2. 橈骨遠位端骨折
3. 腰椎圧迫骨折
4. 大腿骨頸部骨折

問題 32 手根管症候群の原因とならないのはどれか。はき 12-81

1. 妊 娠
2. 甲状腺機能亢進症
3. 関節リウマチ
4. 糖尿病

問題 33 腰椎椎間板ヘルニアで正しい記述はどれか。はき 12-82

1. 中年以降の男性に好発する。
2. 坐骨神経痛が頻発する。
3. 第3-4腰椎間で最も多い。
4. 知覚障害は出現しない。

問題 34 運動機能障害について誤っている組合せはどれか。あ 13-76

1. 錐体路障害 ————— 病的反射
2. 錐体外路障害 ————— 不随意運動
3. 下位運動ニューロン障害 ——— 筋萎縮
4. 神経筋接合部障害 ————— 深部腱反射亢進

問題 35 五十肩について誤っている記述はどれか。あ 13-80

1. 外旋運動が制限される。
2. 保存的治療が基本である。
3. 上肢帯筋の萎縮が起こる。
4. 完治することはまれである。

問題 36 変形性股関節症について正しい記述はどれか。あ 13-81

1. 我が国では二次性が多い。
2. エックス線像で骨萎縮が強い。
3. ジョギングを勧める。
4. 杖は患側に持たせる。

問題 37 腰部脊柱管狭窄症について適切でない記述はどれか。あ 13-82

1. 高齢者に多い。
2. 間欠跛行が特徴である。
3. 下肢症状は両側に認めることが多い。
4. 足背動脈の拍動は消失する。

問題 38 原発性骨粗鬆症について誤っているのはどれか。あ 13-95

1. 閉経後に多く発症する。
2. 病的骨折を起こしやすい。
3. 運動が予防に重要である。
4. 血液、生化学検査に異常を認める。

問題 39 発生頻度に著明な性差がみられないのはどれか。はき 13-59

1. 先天性股関節脱臼
2. ペルテス病
3. 特発性側弯症
4. 先天性筋性斜頸

問題 40 筋萎縮性側索硬化症で最も侵されやすい脳神経核はどれか。はき 13-72

1. 動眼神経核
2. 三叉神経運動核
3. 顔面神経核
4. 舌下神経核

問題 41 15歳の肥満男子。軽微な外傷後跛行を主訴として来院した。最も考えられるのはどれか。はき 13-73

1. ペルテス病
2. 変形性股関節症
3. 結核性股関節炎
4. 大腿骨頭すべり症

問題 42 下部腰椎椎間板ヘルニアで認めにくい記述はどれか。はき 13-75

1. 坐骨神経痛を伴う。
2. ギックリ腰ではじまる。
3. 大腿内側の知覚障害を認める。
4. 髄核は後側方に脱出する。

問題 43 いわゆる五十肩について誤っている記述はどれか。あ 14-83

1. 結帯動作が困難である。
2. 夜間痛がある。
3. 40～60歳代に好発する。
4. 治療にデゾー包帯を使う。

問題 44 小児の肘関節周辺骨折について誤っている記述はどれか。あ 14-84

1. 上腕骨顆上骨折の頻度が高い。
2. 上腕骨外顆骨折では手術の適応が多い。
3. フォルクマン拘縮は重篤な合併症である。
4. 肘関節拘縮には強力に変形矯正を行う。

問題 45 筋萎縮性側索硬化症で最も認めにくいのはどれか。あ 14-89

1. 膀胱直腸障害
2. 構音障害
3. 舌萎縮
4. 筋線維束攣縮

問題 46 ギラン・バレー症候群について誤っている記述はどれか。あ 14-90

1. 脱髄性疾患である。
2. 四肢の脱力をきたす。
3. 深部腱反射は低下する。
4. 寛解と再燃を繰り返す。

問題 47 変形性関節症について誤っているのはどれか。はき 14-73

1. 関節の退行性変化である。
2. 荷重関節に好発する。
3. 運動開始時の痛みが特徴的である。
4. 関節強直を起こしやすい。

問題 48 腰部脊柱管狭窄症について誤っている記述はどれか。はき 14-74

1. 腰椎屈曲位で疼痛が軽減する。
2. 間欠跛行がある。
3. 下肢症状は片側性である。
4. 安静時痛は少ない。

問題 49 ラセーグテストで適切でないのはどれか。あ 15-61

1. 仰臥位で行う。
2. 膝を伸展する。
3. 患者に自分で下肢を挙上させる。
4. 下肢の疼痛発現の有無を確かめる。

問題 50 末梢性顔面神経麻痺の症状で誤っているのはどれか。あ 15-62

1. 表情筋の左右非対称
2. 兎眼
3. 顔面の感覚障害
4. 味覚障害

次の文で示す症例について、**問題 51**、**問題 52** の間に答えよ。

「60歳の女性。生来健康で病気や外傷の既往はない。3か月前から右膝の疼痛と腫脹に気付く。膝の完全屈曲がやや困難。」

問題 51 最も起こりにくいのはどれか。あ 15- 74

1. 歩行開始時の疼痛
2. 膝蓋跳動
3. 膝関節の内反変形
4. 下肢の脚長差

問題 52 この患者への指導で誤っているのはどれか。あ 15-75

1. 等尺性収縮訓練による大腿部の筋力強化
2. 正座訓練による関節可動域の改善
3. 膝サポーターの装用
4. 体重のコントロール

問題 53 肩関節周囲炎について適切でない記述はどれか。あ 15-76

1. 加齢による退行性病変性に起因する。
2. 更衣動作が困難となる。
3. ヤーガソンテストが陽性となる。
4. 痛みがなくなるまで三角巾で安静を保つ。

問題 54 骨粗しょう症について誤っているのはどれか。あ 15-77

1. 骨量は正常である。
2. クッシング症候群に合併する。
3. 脊椎圧迫骨折が起こる。
4. 管状骨では皮質骨が菲薄となる。

問題 55 筋萎縮性側索硬化症でみられないのはどれか。あ 15-78

1. 母指球筋の萎縮
2. 筋線維束性れん縮
3. 膀胱直腸障害
4. 深部腱反射亢進

問題 56 手根管症候群で誤っている記述はどれか。はき 15-66

1. 関節リウマチが原因となる。
2. ティネル徴候が陽性となる。
3. ファーレンテストは陽性となる。
4. 神経伝導速度は正常である。

問題 57 骨肉腫について誤っている記述はどれか。はき 15-67

1. 骨原性の悪性腫瘍では最も多い。
2. 中年以後の発症が多い。
3. 膝周囲の発症が多い。
4. 疼痛・腫脹・発赤がみられる。

問題 58 頸髄損傷について誤っている記述はどれか。はき 15-68

1. 上位頸髄損傷では呼吸障害がある。
2. 下位頸髄損傷では排尿は正常である。
3. 麻痺性イレウスを合併する。
4. 体温調節の障害がある。

問題 59 重症筋無力症について正しい記述はどれか。はき 15-69

1. 筋の易疲労性を呈する。
2. 男性に多い。
3. 血清クレアチンキナーゼが上昇する。
4. 遺伝性疾患である。

問題 60 神経障害により下垂手をきたすのはどれか。あ 16-59

1. 正中神経
2. 尺骨神経
3. 橈骨神経
4. 長胸神経

問題 61 複視をきたしやすいのはどれか。あ 16-64

1. 重症筋無力症
2. 筋萎縮性側索硬化症
3. ホルネル症候群
4. ベル麻痺

問題 62 運動麻痺について誤っている組合せはどれか。あ 16-65

1. 単麻痺 ———— 四肢のうちの1肢
2. 対麻痺 ———— 両側の上肢
3. 片麻痺 ———— 一側の上下肢
4. 四肢麻痺 ———— 両側の上下肢

問題 63 頸腕症候群の検査法でないのはどれか。あ 16-66

1. アドソンテスト
2. スパーリングテスト
3. マックマレーテスト
4. ライトテスト

次の文で示す症例について、**問題 64**、**問題 65** の間に答えよ。

「30歳の女性。3か月前から眼瞼下垂と下顎および両上肢の脱力がある。症状は午後から夕方に悪化し、朝には軽くなる。」

問題 64 最も考えられる疾患はどれか。

1. 重症筋無力症
2. 周期性四肢麻痺
3. 筋萎縮性側索硬化症
4. 進行性筋ジストロフィー症

問題 65 障害部位はどこか。

1. 大脳運動野
2. 脊髄前角
3. 神経筋接合部
4. 骨格筋線維

問題 66 骨肉腫について誤っている記述はどれか。あ 16-83

1. 高齢者に多い。
2. 膝関節近くに好発する。
3. 局所の腫脹・疼痛を起こす。
4. 下肢切断術が行われる。

問題 67 手の腱鞘炎について誤っている記述はどれか。あ 16-84

1. 反復する物理的刺激により起こる。
2. ドゥ・ケルバン病は手関節尺側に起こる。
3. ばね指の原因となる。
4. 局所の圧痛を認める。

問題 68 腰椎椎間板ヘルニアの症状でないのはどれか。あ 16-85

1. 腰痛
2. 坐骨神経痛
3. 足クローヌス
4. 下肢の感覚障害

問題 69 ヘバーデン結節について誤っているのはどれか。はき 16-70

1. 女性に多い。
2. 近位指節間関節に生じる。
3. 変形性関節症である。
4. 初期には軽度発赤・熱感を伴う。

問題 70 先天性股関節脱臼について誤っている記述はどれか。はき 16-71

1. 下肢の短縮がみられる。
2. 大腿内側皮膚溝は非対称となる。
3. 屈曲外転時にクリック音が触知される。
4. 幼児期に腰椎後弯を認める。

問題 71 発育期に多いスポーツ障害で適切でないのはどれか。はき 16-72

1. 離断性骨軟骨炎
2. 腰椎分離症
3. 疲労骨折
4. 内反足

問題 72 デュシェンヌ型筋ジストロフィーで生じにくいのはどれか。あ 17-69

1. 母指球の萎縮
2. 登はん性起立
3. 動揺性歩行
4. 腓腹筋の仮性肥大

問題 73 ベル麻痺について誤っている記述はどれか。あ 17-70

1. 額のしわがなくなる。
2. 開眼が困難になる。
3. 鼻唇溝が浅くなる。
4. 口角が下垂する。

次の文で示す症例について、**問題 74**、**問題 75** の間に答えよ。

「50歳の男性。1か月前から右上腕と手背の橈側にしびれ感と痛みがある。右上肢に脱力感があり肩も挙上しにくい。近医にての診断を受けた。」

問題 74 この症例に行うテストで適切なのはどれか。あ 17-74

1. ジャクソンテスト
2. ライトテスト
3. ヤーガソンテスト
4. ボンネットテスト

問題 75 この症例について誤っているのはどれか。あ 17-75

1. 男性に多い。
2. 椎間板変性を基盤とする。
3. 病変は上位頸椎にある。
4. 進行すると痙性麻痺を起こす。

問題 76 腰部脊柱管狭窄症で適切でないのはどれか。あ 17-76

1. 馬尾神経の圧迫が起こる。
2. 下肢痛が生じる。
3. 間欠跛行を示す。
4. 腰椎伸展位で症状が軽減する。

問題 77 骨粗鬆症で適切でない記述はどれか。あ 17-77

1. 骨量が減少した状態である。
2. 骨吸収率は骨形成率より低下している。
3. 甲状腺機能亢進症で起こる。
4. 脊椎圧迫骨折が起こる。

問題 78 骨折で皮膚に創があり外界との交通があるのはどれか。あ 17-78

1. 病的骨折
2. 完全骨折
3. 粉碎骨折
4. 複雑骨折

問題 79 高齢者が起こしやすい骨折はどれか。はき 17-65

1. 鎖骨骨折
2. 上腕骨近位部骨折
3. 上腕骨顆上骨折
4. 上腕骨外顆骨折

問題 80 脊椎分離症で誤っているのはどれか。はき 17-66

1. 上下関節突起間に起こる。
2. 腰椎下部に好発する。
3. 初期より神経根症状を示す。
4. スポーツ選手に多い。

問題 81 特発性三叉神経痛で正しい記述はどれか。はき 17-83

1. 若年者に多い。
2. 一日中シクシク痛む。
3. 疼痛を誘発する部位がある。
4. 内服薬は無効である。

問題 82 骨折とその説明で誤っている記述はどれか。あ 18-60

1. 疲労骨折は小さな外力が連続的に作用して起こる。
2. 病的骨折は治癒が早期に起こる。
3. 不完全骨折は骨の連続性が保たれている。
4. 開放骨折は骨折部と外界との交通がある。

問題 83 肩関節周囲炎について適切でない記述はどれか。あ 18-71

1. 帯を結ぶのが困難となる。
2. 有痛弧徴候（ペインフルアークサイン）がみられる。
3. ライトテストが陽性となる。
4. 上腕二頭筋長頭筋腱に圧痛がみられる。

次の文で示す症例について、**問題 84**、**問題 85** の間に答えよ。

「50歳の女性。子供の頃、先天性股関節脱臼で治療を受けたことがある。最近、左股関節部に痛みがあり跛行するようになった。エックス線検査の結果、変形性股関節症と診断された。」

問題 84 この症例の疾患について誤っている記述はどれか。あ 18-72

1. 一次性の関節症である。
2. トレンデレンブルグ歩行がみられる。
3. 初期には歩行開始時痛がある。
4. 股関節の可動域制限がみられる。

問題 85 この患者への指導で誤っているのはどれか。あ 18-73

1. 体重の減量
2. 左手での杖使用
3. プール内歩行
4. 進行した場合の人工関節の適応

問題 86 デュージェンヌ型筋ジストロフィー症について正しいのはどれか。あ 18-76

1. 性染色体劣性遺伝形式である。
2. 生下時から筋緊張の異常低下がある。
3. 遠位筋から萎縮が始まる。
4. 血清生化学検査ではCK値が低下する。

問題 87 指の変形で変形性関節症によると考えられるのはどれか。はき 18-54

1. ボタン穴変形
2. 太鼓ばち指
3. クモ状指
4. ヘバーデン結節

問題 88 発育期に多いスポーツ障害として適切でないのはどれか。はき 18-55

1. 腰椎分離症
2. オスグッド病
3. アキレス腱断裂
4. 踵骨骨端症

問題 89 特発性側弯に関して正しい記述はどれか。はき 18-64

1. 3歳頃までに気付かれることが多い。
2. 前屈させると背部は水平となる。
3. コブ法は弯曲の程度の計測法である。
4. 肺機能は低下しないのが特徴である。

問題 90 高齢者に多い骨折として適切でないのはどれか。はき 18-65

1. 鎖骨骨折
2. 上腕骨近位部骨折
3. 脊椎圧迫骨折
4. 大腿骨頸部骨折

問題 91 小児期の上腕骨外顆骨折後、成人になって起こる神経障害はどれか。はき 18-66

1. 腋窩神経麻痺
2. 橈骨神経麻痺
3. 正中神経麻痺
4. 尺骨神経麻痺

問題 92 ギランバレー症候群で正しい記述はどれか。あ 19-67

1. 中枢神経障害である。
2. 髄液蛋白質の上昇を認める。
3. 腱反射は亢進する。
4. 呼吸筋麻痺はない。

問題 93 外反母趾について誤っているのはどれか。あ 19-70

1. 男性に多い
2. MP関節亜脱臼を起こす
3. 扁平足を伴う
4. 靴の使用と関連する

問題 94 骨肉腫で誤っている記述はどれか。あ 19-71

1. 40歳代に好発する。
2. 大腿骨下端に多い。
3. 局所の疼痛・腫脹がみられる。
4. エックス線検査で骨皮質の虫食い像を認める。

次の文で示す症例について、**問題 95**、**問題 96** の間に答えよ。

「85歳の女性。骨粗鬆症の治療中。トイレに行こうとして転倒、殿部と腰を打撲し、歩けなくなった。股関節は外旋位をとり、痛みは右殿部に強い。」

問題 95 この病態について正しい記述はどれか。あ 19-74

1. 坐骨神経損傷が多い。
2. 寝返り動作は障害されにくい。
3. 寝たきりの原因となる危険性が高い。
4. 保存療法で歩行予後は良好である。

問題 96 この疾患以外に、高齢者の転倒で起こりやすいのはどれか。あ 19-75

1. 上腕骨近位部骨折
2. 骨盤骨折
3. 大腿骨骨幹部骨折
4. 脛骨骨折

問題 97 変形性関節症の症状でみられないのはどれか。はき 19-52

1. 運動時痛
2. 歩行異常
3. 筋力低下
4. 関節硬直

問題 98 胸郭出口症候群の診断テストでないのはどれか。はき 19-62

1. アドソンテスト
2. エデンテスト
3. ファレンテスト
4. ライトテスト

問題 99 頸部後縦靭帯骨化症について誤っている記述はどれか。はき 19-63

1. 50歳以上に多い。
2. 原因はカルシウムの過剰摂取である。
3. 進行性の痙性四肢麻痺を起こす。
4. 転倒予防のための生活指導を行う。

問題 100 肩関節周囲炎について適切でない記述はどれか。はき 19-64

1. 70 歳代に好発する。
2. 早期に肩関節の可動域制限を認める。
3. 回旋運動を伴う動作で痛みが増強する。
4. ペインフルアークサインがあれば腱板損傷を疑う。

臨床医学総論&臨床医学各論

整形外科疾患の問題集②

【解答用紙】

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
61	62	63	64	65	66	67	68	69	70
71	72	73	74	75	76	77	78	79	80
81	82	83	84	85	86	87	88	89	90
91	92	93	94	95	96	97	98	99	100

臨床医学総論&臨床医学各論

整形外科疾患の問題集②

【解答】

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1	1	2	4	4	1	4	3	4	4
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
2	3	3	1	3	4	2	4	3	4
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1	3	2	3	4	3	3	4	3	1
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
1	2	2	4	4	1	4	4	4	4
41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
4	3	4	4	1	4	4	3	3	3
51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
4	2	3	1	3	4	2	2	1	3
61	62	63	64	65	66	67	68	69	70
1	2	3	1	3	1	2	3	2	4
71	72	73	74	75	76	77	78	79	80
4	1	2	1	3	4	2	4	2	3
81	82	83	84	85	86	87	88	89	90
3	2	3	1	2	1	4	4	3	1
91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
4	2	1	1	4	3	4	3	2	1